

地域コミュニティのための 情報通信システムに関する調査検討会開催趣旨

地方の地域社会は過疎化、高齢化、独居老人世帯の増加等の課題を抱えているが、市町村合併により行政区域の広域化等が進む中、住民相互の助け合いによる安心・安全確保や地域の活性化がこれまで以上に求められている。

住民相互の助け合い等の地域コミュニティ活動を円滑に行うためには自治会、町内会等の狭い地域コミュニティにおける緊急連絡などの日頃の身近な情報の共有が重要となる。

このような状況の中、例えば鹿児島県では簡易無線を利用した町内会単位の手頃な情報通信システムが約 700 地域で導入されてきており、一層の利用拡大が期待されている。また他地域でも地域コミュニティ活動を支援する手頃な無線システムの可能性が期待されている。

そこで、既に地域で行われている防災・防犯をはじめとするコミュニティ活動における情報の伝達・共有の実情・課題、地域コミュニティに適した情報通信システムについて調査・整理するとともに、手頃な無線の利用について必要な検討を行い技術的要件等を明らかにすることにより、地域コミュニティにおける情報伝達・共有を促進し、地域の安心・安全の向上や地域の活性化に資する。